

一般質問

えのした 正人 議員 (自民)



環境美化について

鳩・カラスの被害について、大田区・港区で条例が施行されました。区の取り組みと見解は。

条例と補助制度について、他自治体の動向を注視し、環境向上と人と野生鳥獣の共存に向けて取り組む。

品川の郷土愛、伝統の技を現代に活かした鷹匠による鳩被害対策は、自然の摂理に即した鳩対策として鷹などを活用した取組みに注視している。先行自治体の課題や実績を踏まえ研究していく。

品川区地域防災計画については、修正素案を基に、区民の防災力の向上、防災意識の向上につながる施策を検討していく。

品川区地域防災計画については、修正素案を基に、区民の防災力の向上、防災意識の向上につながる施策を検討していく。

品川区地域防災計画については、修正素案を基に、区民の防災力の向上、防災意識の向上につながる施策を検討していく。

一般質問

被災直後は公助が届きにくく、命を守るためには自助・共助の取組みが重要。災害発生直後の安否確認など防災訓練等を通じて共助の中核である防災区民組織と連携ができる施策を検討していく。

小中学生に対する取組みは、自分自身で考え行動することが期待できる中学生は地域防災力の一助になる。新たな取組みを検討。ペット防災について。

ペット避難に必要なケージやペットフードなど、被災によりやむを得ず持参できない方を想定した備蓄についても検討していく。

デジタル防災教育について。しながら防災ハンドブックの見直しにおいて、インターネットを活用して災害リスクなど、理解していただける仕組みを検討していく。

大会要項およびコース案について。魅力ある大会を目指している。仮設トイレや必要な設備を設置する他、お子様連れの方にも配慮するなどランナーが気持ちよく参加できる工夫を検討していく。

ご提案も含めて、家族の絆が深まる機会となるよう取組んでいく。

ご提案も含めて、家族の絆が深まる機会となるよう取組んでいく。

ご提案も含めて、家族の絆が深まる機会となるよう取組んでいく。

ご提案も含めて、家族の絆が深まる機会となるよう取組んでいく。

一般質問

須貝 行宏 議員 (品改)



選挙管理委員、時給10万円の報酬はやめるべき

選挙管理委員は、引退した元区議会議員の4人で構成され、月に2日勤務で月額23万円、時給に換算すると、10万円以上の高額報酬なので、他の自治体のように月額報酬はやめて出席日ごとに支給する1日3万円の日額制に変更するべきでは。同様に教育委員、監査委員の報酬も変更するべきでは。

教育委員、選挙管理委員、監査委員の報酬は、その職責にふさわしい額を区議会の議決により条例で定めている。

区議会議員などの特別職の給与増額はやめよ。森澤区長のように議員も報酬削減を。区民の暮らしや商売が悪化しているなら、国民の代表である政治家

一般質問

木村 健悟 議員 (未来)



地域猫活動について

保護猫の譲渡会は、子どもたちやペットを飼うことのできないお年寄りと交流を持てる場になる。信頼性が高く区民の方々も来場しやすい区の施設で、定期的な譲渡会の開催は可能か。

公共性が確保され、参加者の安全・安心にもつながることが期待できるが、区有施設の衛生管理等幾つかの課題があり、困難である。

区では町会ごとに登録すると、その町会のみが共生モデル地区とされる。モデル地区で区切らず、区内の猫は全て共生モデル地区の対応をしてほしいが、いかがか。

モデル地区の指定となっていない地域では、地域猫の増加が見受けられる等の課題が生じているため、支援方法の見直しを進めている。

一般質問

区では野良猫の避妊去勢手術を低価格で行う病院がとて少ないので、助成金の金額を上げてほしい。現行の助成金で手術を対応できる動物病院は限定的であることなどを踏まえ、円滑な地域猫活動が行えるよう引き続き検討していく。

区では助成金の支払いが申請の1か月後となっており、個人が1か月間は全額立て替えなければならぬ。助成金は区から病院へ直接支払えば、負担が少ないのでは。動物病院との必要な協議を含め、今後検討していく。

避妊去勢手術の際、マイクロチップを同時に入れることで、区でも地域猫の頭数管理がしやすくなると思うがいかがか。

飼い主のいない地域猫では、マイクロチップを装着する際の情報登録ができないため、現時点でマイクロチップ導入は考えていない。

区内の、地域猫活動に共鳴している面が感じられるイベントなど開催されているが、内容等は。7月にしながらFMにて地域猫活動の啓発を行い、9月には動物愛護週間に合わせて、区報への特集記事の掲載とケーブルテレビ品川による周知啓発を実施した。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

一般質問

松本 とさひろ 議員 (維新)



区長のメディア活用と区政改革について

区長のソーシャルメディアアカウントを活用したシタイプロモーションについて、ご所見は。

個人アカウントでの情報発信と合わせて、引き続き品川区の魅力発信していく。

品川区でも、政府が策定を要請するPPP/PFI手法導入の優先的検討規程を策定すべきでは。

改定作業を進めている公共施設等総合計画において、PPP/PFI手法導入優先的検討の考え方を整理し、国の手引に沿った形で区の方針を取りまとめる予定。

高齢者の住宅確保策について

高齢者住宅生活支援サービス事業・あんしん居住サポートへの区の助成を要望する。

一般質問

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。

区内の危険な解体工事を防ぐために、巡回を強化するとともに、停止命令を出す権限がある機関と密な連携体制をとっていただきたい。区民の方から不安や心配の声が寄せられた際には、速やかに現場の調査を行い、関係機関と連携してしっかりと対応していく。